



2022年2月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2022年4月14日

上場会社名 株式会社アーコア 上場取引所 名
 コード番号 3384 URL https://arkcore.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 正渡 康弘
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 土屋 勉 (TEL) 03(5928)1537
 定時株主総会開催予定日 2022年5月26日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2022年5月27日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年2月期の業績(2021年3月1日~2022年2月28日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期	3,845	39.6	120	221.9	187	364.7	△32	—
2021年2月期	2,753	21.1	37	△45.8	40	△34.1	3	△57.6

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2022年2月期	△18.46	—	△10.5	12.6	3.1
2021年2月期	2.08	2.01	1.1	3.1	1.4

(参考) 持分法投資損益 2022年2月期 ー百万円 2021年2月期 ー百万円

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年2月期	1,561	296	18.9	166.98
2021年2月期	1,425	329	23.0	185.44

(参考) 自己資本 2022年2月期 295百万円 2021年2月期 328百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2022年2月期	138	△253	103	742
2021年2月期	152	△129	185	753

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2021年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2022年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2023年2月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2023年2月期の業績予想(2022年3月1日~2023年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純 利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,783	△1.6	154	28.5	180	△3.7	125	—	70.59

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年2月期	1,970,000 株	2021年2月期	1,970,000 株
② 期末自己株式数	2022年2月期	193,667 株	2021年2月期	193,667 株
③ 期中平均株式数	2022年2月期	1,776,333 株	2021年2月期	1,776,333 株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束するものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 財務諸表及び主な注記	5
(1) 貸借対照表	5
(2) 損益計算書	7
(3) 株主資本等変動計算書	8
(4) キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(セグメント情報等)	10
(持分法損益等)	12
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国経済は、2021年10月—12月期の四半期別GDP実質成長率が前期のマイナスからプラスに転じ、新型コロナウイルス感染症対策として実施されたまん延防止等重点措置が2022年3月に解除されるなどして景気の好転が見込める状況になったものの、ウクライナ情勢等の影響による原材料価格や金融市場の変動状況により、多大な影響を受ける可能性があります。

当社の事業セグメントは、バイク事業、フィットネス事業及び飲食事業となっております。当事業年度におけるセグメント別の業績は次のとおりであります。

(バイク事業)

バイクの買取台数は10,173台(前期比11.4%増)、販売台数は10,038台(同12.2%増)となりました。業者間オークションの相場は好況であり、小売販売も好調であったことから、売却単価は前期比13.5%増、粗利単価は同7.0%増となりました。また、販売費及び一般管理費は、人件費は前期比4.1%増、買取りに係る広告費は同3.0%増となっております。

バイク事業の当事業年度の業績は、売上高2,931百万円(前期比27.4%増)、セグメント利益213百万円(前期比100.4%増)となりました。

(フィットネス事業)

当事業のエンタイムフィットネス及びステップゴルフの各店舗数の増減はありません。前事業年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために東京都などからの休業要請を全店舗で受け入れて、4月中旬から5月末日までの期間を休業いたしました。当事業年度は休業期間がありませんでした。その結果、売上高は大幅に増加しました。

フィットネス事業の当事業年度の業績は、売上高421百万円(前期比16.2%増)、セグメント利益56百万円(前期はセグメント損失28百万円)となりました。

(飲食事業)

当事業は、2020年9月にワタミ株式会社との間で「から揚げの天才」のフランチャイズ契約を締結して開始しました。前事業年度末では4店舗の運営でしたが、当事業年度末では11店舗を運営しております。店舗数が増加したことで売上高は増加しましたが、新規出店に係る費用等が発生したこと、店舗単位の売上高は想定を大きく下回ったことが影響し、セグメント損失を計上いたしました。

飲食事業の当事業年度の業績は、売上高491百万円(前期比451.0%増)、セグメント損失149百万円(前期はセグメント損失41百万円)となりました。

なお、営業外損益では、主に新型コロナウイルス感染症対策等に係る助成金収入として84百万円を営業外収益に計上し、特別損益では、飲食事業のから揚げの天才11店舗に係る減損損失を認識したことにより179百万円を特別損失に計上しております。

以上の結果、当事業年度の経営成績は売上高3,845百万円(前期比39.6%増)、営業利益120百万円(前期比221.9%増)、経常利益187百万円(前期比364.7%増)、当期純損失32百万円(前期は当期純利益3百万円)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当事業年度末において総資産は1,561百万円となり、前事業年度末と比較して136百万円増加しました。主な要因としては、バイク事業の小売在庫の増加に伴い商品残高が137百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当事業年度末において負債は1,265百万円となり、前事業年度末と比較して169百万円増加しました。主な要因としては、1年内償還予定の社債を含む社債が215百万円増加し、1年内返済予定の長期借入金を含む長期借入金が92百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当事業年度末において純資産は296百万円となり、前事業年度末と比較して32百万円減少しております。これは、当期純損失32百万円を計上したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末の現金及び現金同等物は742百万円となっております。当事業年度における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は138百万円となりました。主な要因は、得られた資金として、減価償却費59百万円の計上、減損損失179百万円の計上及び税引前当期純利益5百万円の計上、支出した資金としてはたな卸資産の増加額138百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、支出した資金は253百万円となりました。主な要因は、支出した資金として、有形固定資産の取得による支出216百万円、差入保証金の差入による支出44百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、得られた資金は103百万円となりました。主な要因としては、支出した資金として、長期借入金の返済による支出222百万円、社債の償還による支出85百万円によるものであり、得られた資金としては長期借入れによる収入130百万円、社債の発行による収入288百万円によるものであります。

(4) 今後の見通し

バイク事業は、2022年2月期中古バイク買取台数が10,000台超となったことから、2023年2月期も買取台数10,000台を目指し、また今後の海外情勢によっては業者間オークション相場の大きな変動等も想定されるため、相場状況に応じた適切な買取価格を設定し、粗利益の確保に努めてまいります。

フィットネス事業は、2022年2月期は各店舗において新型コロナウイルス感染症対策を講じて安全、安心な環境を整え、新規及び再入金の会員獲得と退会率の抑制の施策を実行していくことで、売上高の増大に努めてまいります。

飲食事業は、から揚げの天才FC店の新規出店を予定しておりませんが、既存店舗のてこ入れにより売上高を増大させ、セグメント利益を計上できるように努めてまいります。

なお、営業外収益として飲食事業での助成金収入を見込んでおります。

以上より、2023年2月期は、売上高3,783百万円(前期比1.6%減)、営業利益154百万円(前期比28.5%増)、経常利益180百万円(前期比3.7%減)、当期純利益125百万円と予想しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は日本国内でのみ事業を展開しており、また、当社株主のうち国外の株主数も極めて少ないことから、当面の間、日本基準に基づいて財務諸表を作成する方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2021年2月28日)	当事業年度 (2022年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	759,853	750,204
売掛金	47,489	48,684
商品	220,018	357,764
貯蔵品	2,014	2,649
前払費用	41,325	40,592
未収入金	6,881	25,473
その他	258	627
流動資産合計	1,077,841	1,225,996
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	355,502	358,246
減価償却累計額	△222,338	△225,340
建物附属設備(純額)	133,163	132,906
構築物	16,654	13,267
減価償却累計額	△15,183	△11,180
構築物(純額)	1,471	2,086
機械及び装置	4,120	2,524
減価償却累計額	△257	△2,524
機械及び装置(純額)	3,863	-
車両運搬具	17,478	19,230
減価償却累計額	△12,678	△14,847
車両運搬具(純額)	4,800	4,383
工具、器具及び備品	167,082	165,996
減価償却累計額	△143,216	△155,164
工具、器具及び備品(純額)	23,865	10,832
リース資産	19,272	27,318
減価償却累計額	△5,409	△9,660
リース資産(純額)	13,863	17,658
建設仮勘定	7,153	1,378
有形固定資産合計	188,181	169,244
無形固定資産		
ソフトウェア	10,839	8,162
電話加入権	37	37
無形固定資産合計	10,877	8,199
投資その他の資産		
出資金	222	222
長期貸付金	1,000	1,000
差入保証金	94,432	127,005
長期前払費用	35,665	13,149
繰延税金資産	16,905	16,916
投資その他の資産合計	148,226	158,292
固定資産合計	347,284	335,737
資産合計	1,425,126	1,561,734

(単位:千円)

	前事業年度 (2021年2月28日)	当事業年度 (2022年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	31,578	30,237
1年内償還予定の社債	70,000	130,000
1年内返済予定の長期借入金	194,411	136,269
リース債務	3,275	6,209
未払金	42,749	52,273
未払費用	32,964	38,358
未払法人税等	11,487	41,495
未払消費税等	13,162	12,992
前受金	17,487	23,505
預り金	12,363	4,675
賞与引当金	12,082	14,191
その他	727	159
流動負債合計	442,290	490,368
固定負債		
社債	205,000	360,000
長期借入金	435,084	400,300
長期末払金	566	-
リース債務	12,778	14,453
固定負債合計	653,429	774,753
負債合計	1,095,720	1,265,122
純資産の部		
株主資本		
資本金	232,825	232,825
資本剰余金		
その他資本剰余金	266,598	266,598
資本剰余金合計	266,598	266,598
利益剰余金		
利益準備金	3,217	3,217
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△100,376	△133,170
利益剰余金合計	△97,158	△129,953
自己株式	△73,858	△73,858
株主資本合計	328,406	295,611
新株予約権	1,000	1,000
純資産合計	329,406	296,611
負債純資産合計	1,425,126	1,561,734

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)	当事業年度 (自 2021年3月1日 至 2022年2月28日)
売上高	2,753,340	3,845,021
売上原価		
商品期首たな卸高	191,863	220,018
当期商品仕入高	1,411,161	2,119,064
合計	1,603,024	2,339,082
商品期末たな卸高	220,018	357,764
売上原価合計	1,383,005	1,981,318
売上総利益	1,370,334	1,863,702
販売費及び一般管理費		
販売手数料	70,344	81,653
販売促進費	87	2,258
運賃	30,072	35,002
広告宣伝費	132,427	139,271
役員報酬	90,293	93,412
給料及び手当	380,644	539,564
賞与	8,137	12,602
賞与引当金繰入額	12,082	14,191
法定福利費	60,556	68,174
旅費及び交通費	81,837	87,934
減価償却費	41,436	59,573
地代家賃	149,863	196,414
その他	275,263	413,615
販売費及び一般管理費合計	1,333,047	1,743,669
営業利益	37,287	120,033
営業外収益		
受取利息	37	36
受取手数料	4,999	5,060
助成金収入	11,686	84,540
雑収入	2,583	2,093
営業外収益合計	19,306	91,730
営業外費用		
支払利息	8,582	8,473
社債利息	1,685	2,447
社債発行費	5,863	11,681
雑損失	86	1,553
営業外費用合計	16,218	24,155
経常利益	40,375	187,607
特別損失		
減損損失	23,331	179,907
固定資産除却損	—	1,873
特別損失合計	23,331	181,780
税引前当期純利益	17,044	5,827
法人税、住民税及び事業税	13,541	38,632
法人税等調整額	△197	△10
法人税等合計	13,344	38,621
当期純利益又は当期純損失(△)	3,700	△32,794

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)

(単位:千円)

	株主資本								新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			自己株式	株主資本合計		
		その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計				
当期首残高	232,825	266,598	266,598	3,217	△104,076	△100,858	△73,858	324,706	1,000	325,706
当期変動額										
当期純利益					3,700	3,700		3,700		3,700
当期変動額合計	-	-	-	-	3,700	3,700	-	3,700	-	3,700
当期末残高	232,825	266,598	266,598	3,217	△100,376	△97,158	△73,858	328,406	1,000	329,406

当事業年度(自 2021年3月1日 至 2022年2月28日)

(単位:千円)

	株主資本								新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			自己株式	株主資本合計		
		その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計				
当期首残高	232,825	266,598	266,598	3,217	△100,376	△97,158	△73,858	328,406	1,000	329,406
当期変動額										
当期純損失(△)					△32,794	△32,794		△32,794		△32,794
当期変動額合計	-	-	-	-	△32,794	△32,794	-	△32,794	-	△32,794
当期末残高	232,825	266,598	266,598	3,217	△133,170	△129,953	△73,858	295,611	1,000	296,611

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)	当事業年度 (自 2021年3月1日 至 2022年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	17,044	5,827
減価償却費	41,436	59,573
固定資産除却損	—	1,873
減損損失	23,331	179,907
のれん償却額	2,489	—
株式報酬費用	17,579	17,579
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,991	2,109
受取利息及び受取配当金	△37	△36
助成金収入	△11,686	△84,540
支払利息	8,582	8,473
社債利息	1,685	2,447
社債発行費	5,863	11,681
売上債権の増減額(△は増加)	20,980	△1,195
たな卸資産の増減額(△は増加)	△27,663	△138,379
仕入債務の増減額(△は減少)	22,050	△1,340
その他の流動資産の増減額(△は増加)	3,102	104
その他の流動負債の増減額(△は減少)	33,842	18,125
その他	9,867	13,392
小計	170,459	95,602
利息及び配当金の受取額	67	36
利息の支払額	△10,484	△11,385
法人税等の支払額	△19,253	△11,628
助成金の受取額	11,686	65,919
営業活動によるキャッシュ・フロー	152,475	138,543
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,800	△1,800
貸付けによる支出	—	△262
有形固定資産の取得による支出	△89,669	△216,343
有形固定資産の売却による収入	1,040	12,552
無形固定資産の取得による支出	△11,806	—
差入保証金の差入による支出	△28,312	△44,563
差入保証金の回収による収入	7,266	6,000
出資金の払込による支出	△30	—
その他の支出	△6,599	△9,519
投資活動によるキャッシュ・フロー	△129,911	△253,936
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△24,998	—
長期借入れによる収入	360,000	130,000
長期借入金の返済による支出	△233,852	△222,926
社債の発行による収入	144,136	288,318
社債の償還による支出	△55,000	△85,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△3,173	△4,503
割賦債務の返済による支出	△1,946	△1,946
財務活動によるキャッシュ・フロー	185,166	103,942
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	207,730	△11,449
現金及び現金同等物の期首残高	546,122	753,853
現金及び現金同等物の期末残高	753,853	742,403

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は事業別のセグメントから構成されており、「バイク事業」、「フィットネス事業」及び「飲食事業」を報告セグメントとしています。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

バイク事業は、中古バイクの買取・販売等を行っております。

フィットネス事業は、株式会社Fast Fitness Japanをフランチャイザーとする「エニタイム・フィットネス」フランチャイズ契約を締結し、エニタイムフィットネスFC店の出店、運営を行っております。また、当該事業に含めておりますゴルフスクール事業は、ステップゴルフ株式会社をフランチャイザーとする「ステップゴルフ」及び「ステップゴルフプラス」フランチャイズ契約を締結し、ステップゴルフ及びステップゴルフプラスFC店の出店、運営を行っております。

飲食事業は、ワタミ株式会社をフランチャイザーとする「から揚げの天才」フランチャイズ契約を締結し、から揚げの天才FC店の出店、運営を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、財務諸表作成のために採用している会計処理の方法と同一であります。報告セグメントの利益又は損失は、営業利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前事業年度(自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1、2	合計
	バイク事業	フィットネス 事業	飲食事業		
売上高	2,301,154	363,039	89,146	—	2,753,340
セグメント利益 又は損失(△)	106,601	△28,008	△41,305	—	37,287
セグメント資産	342,546	202,745	115,907	763,927	1,425,126
セグメント負債	132,159	17,451	16,963	929,145	1,095,720
その他の項目					
減価償却費	6,045	29,757	5,632	—	41,436
のれんの償却額	—	2,489	—	—	2,489
減損損失	—	23,331	—	—	23,331
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	19,073	—	81,684	—	100,757

(注) 1 セグメント資産の調整額763,927千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であり、主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金745,145千円であります。

2 セグメント負債の調整額929,145千円は、各報告セグメントに配分していない全社負債であり、主に報告セグメントに帰属しない社債及び長期借入金904,495千円であります。

当事業年度(自 2021年3月1日 至 2022年2月28日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1、2	合計
	バイク事業	フィットネス 事業	飲食事業		
売上高	2,931,832	421,954	491,235	—	3,845,021
セグメント利益 又は損失(△)	213,662	56,038	△149,667	—	120,033
セグメント資産	527,485	198,340	89,090	746,817	1,561,734
セグメント負債	136,927	28,685	18,452	1,081,057	1,265,122
その他の項目					
減価償却費	11,280	16,570	31,722	—	59,573
減損損失	—	—	179,907	—	179,907
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	71,849	11,385	131,200	—	214,435

(注) 1 セグメント資産の調整額746,817千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であり、主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金729,901千円であります。

2 セグメント負債の調整額1,081,057千円は、各報告セグメントに配分していない全社負債であり、主に報告セグメントに帰属しない社債及び長期借入金1,026,569千円であります。

【関連情報】

前事業年度(自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外への外部顧客への売上がないため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在する有形固定資産がないため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位:千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
株式会社ビーディーエス	1,493,701	バイク事業

当事業年度(自 2021年3月1日 至 2022年2月28日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外への外部顧客への売上がないため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在する有形固定資産がないため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
株式会社ビーディーエス	2,019,482	バイク事業

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前事業年度(自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

当事業年度(自 2021年3月1日 至 2022年2月28日)

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前事業年度(自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)

(単位：千円)

	報告セグメント			
	バイク事業	フィットネス事業	飲食事業	計
当期償却額	—	2,489	—	2,489
減損損失	—	6,639	—	6,639
当期末残高	—	—	—	—

当事業年度(自 2021年3月1日 至 2022年2月28日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(持分法損益等)

当社は関連会社を有しておりませんので、該当事項はありません。

(1株当たり情報)

項目	前事業年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)	当事業年度 (自 2021年3月1日 至 2022年2月28日)
1株当たり純資産額	185.44円	166.98円
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△)	2.08円	△18.46円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	2.01円	—円

(注) 1 当事業年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、1株当たり当期純損失であるため記載していません。

2 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)	当事業年度 (自 2021年3月1日 至 2022年2月28日)
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△)		
当期純利益又は 当期純損失(△)(千円)	3,700	△32,794
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益又は 当期純損失(△)(千円)	3,700	△32,794
普通株式の期中平均株式数(株)	1,776,333	1,776,333
潜在株式調整後1株当たり当期純利益 金額		
当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	64,815	—
(うち新株予約権(株))	(64,815)	—
希薄化効果を有しないため、潜在株式 調整後1株当たり当期純利益の算定に 含まれなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。